⑧雪遊び

概要	スノースコップ、もしくは、シャベルを使って、個人やグループで、雪像（雪だるまなど）やかまくらづくりをすることができます。			
ねらい	・表現のアイディアや作り方の工夫などの創造力を育みます。 ・ルールを守って安全に活動できる力を育みます。 ・グループで行うことにより、課題解決に向けて仲間との協調性や自主性を育みます。			
条件	対象	幼児～	人数	制限なし
	時期	１・２月（積雪状況によっては３月も可能）	実施の判断	雨天や強風時は中止
貸出物品 ・準備物	自然の家	団体	個人	
	□スノースコップ □シャベル	□救急セット	□スキーウェア □グローブ □ゴーグル □帽子　□防水防寒靴	
引率者の役割	・自然の家の職員からピロティで説明を受けて貸出物品を受け取り、活動場所に移動させる。 ・活動終了後に貸出物品を戻し、終了したことを事務室へ報告する。			
自然の家職員の役割	・物品の貸出を行う。 ・活動場所まで案内し、安全に関する指導を行う。			
活動の流れ （１～２時間）	【準備】 ・　積雪状況を確認します。 ・　活動場所や、使用する道具を確認します。 【活動】 ・　計画を立てます。 ・　作る場所と大きさを決めます。 ・　作り始めます。 【実施後】 ・　グループや個人ごとに、どのような作品を作ったか発表し合います。 ・　雪像やかまくら、雪合戦の雪玉は、活動後（その日のうちに）必ず崩して、穴も埋め戻します。 ・　スノースコップは雪をよく落としてからピロティへ返却します。			
安全管理 留意事項	・防寒着や手袋（グローブ）などを装着し、十分に防寒対策をしてください。 ・かまくら内には、つぶれたときの脱出用にスノースコップやシャベルを必ず置いてください。 ・雪像やかまくらは気温が高くなると雪が溶けて崩れやすくなるため、雨や氷点下にならない日は十分気をつけて活動してください。			